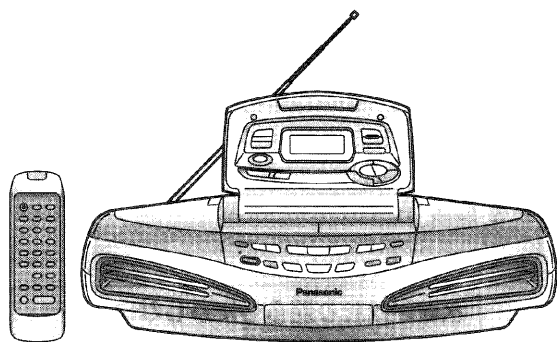


ポータブル ステレオ CD システム

取扱説明書



付属品

買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。

- ・電源コード (1)
- ・リモコン (EUR643825) (1)
- ・リモコン用乾電池 (2)



このたびはポータブルステレオ CD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使うって上手に節電

もくじ

安全上のご注意……………2
 電源の準備……………6
 リモコンの準備……………7
 各部のなまえ……………8
 コプラトップを開閉する……………10
 表示を切り換える……………10
 時計を合わせる……………10

テープを聞く……………11
 ラジオを聞く……………14
 CD を聞く……………18
 音質を切り換える
 (プリセットイコライザー)……………21
 音場効果を使う
 (サウンドパーチャライザー)……………21

CD を録音する……………22
 テープからテープへ録音する
 (テープダビング)……………26
 ラジオ放送を録音する……………27

おめざめタイマーを使う
 (タイマー再生)……………28
 留守録タイマーを使う
 (タイマー録音)……………30
 おやすみタイマーを使う……………32
 タイマーを組み合わせる……………32

マイクを使う……………34
 ヘッドホンで聞く……………34
 他の機器へ録音する……………35

CD について……………35
 テープについて……………36
 お手入れ……………36
 故障かな!?……………37
 保証とアフターサービス……………38
 主な仕様……………裏表紙

はじめに

演奏

録音

タイマー

その他の機能

参考

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

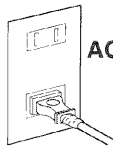


このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

ご使用について

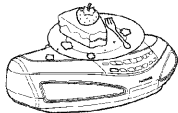
電源は交流 (AC) 100V を使う



AC 100V

- 指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。

コプラトップの上にものを載せない



- 開閉時に、ものが内部に入り込み、感電、火災や故障の原因になります。

機器内部に金属物を入れない

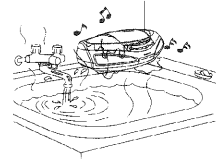


- 感電の原因になります。
- 特にお子様にはご注意ください。

水をかけたり濡らしたりしない



水場使用
禁止

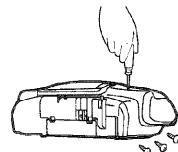


- 機器が故障したり、ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 水が入ったときは、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
- 雨天、降雪中、海岸や水辺での使用は、特にご注意ください。

分解、改造したりしない



分解禁止

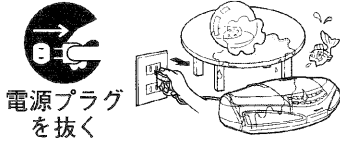


- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

警告

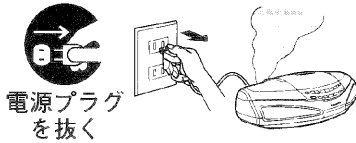
もし、異常が起ったら

機器内部に金属や水、異物が入ったら、
電源プラグを抜く



- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

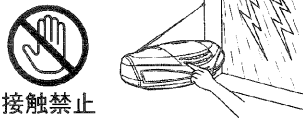
煙や異臭、異音が出たり、落下、破損
したときは電源プラグを抜く



- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナや機器に触れ
ない



- 感電の恐れがあります。

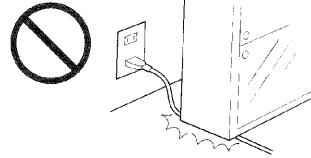
雷が鳴ったら、屋外で使わない



- 落雷の恐れがあります。
- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

電源コードについて

加工したり、無理な力を加えたりしない



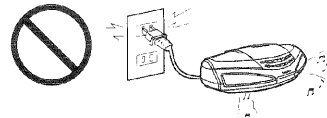
- コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 芯線が露出するなど、コードが傷んだ場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

プラグのほこり等は定期的にとる



- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。ほこりなどをとった後は、乾いた布でふいてください。

プラグのさし込みが不完全な状態で使
わない

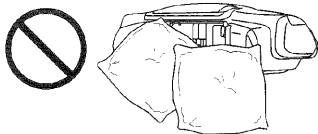


- 接触不良により発熱し、火災や感電の原因になります。
- たこ足配線も、コードが熱を持ち危険です。のでしないでください。

⚠️ 注意

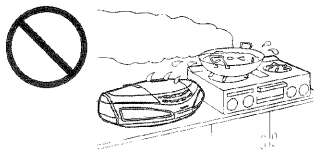
設置・接続について

放熱を妨げない



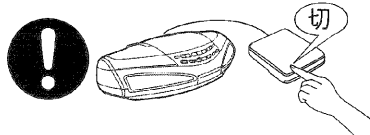
- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。本機後面の放熱孔をふさがないように、ご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



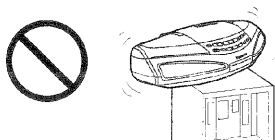
- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

接続前に接続先の全ての電源を「切」にしておく



- 「入」の状態では接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因になることがあります。

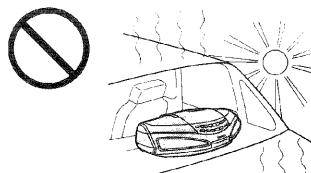
不安定な場所に置かない



- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

設置について

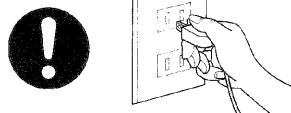
異常に温度が高くなるところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

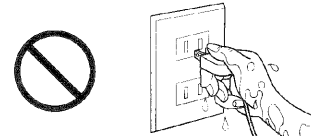
電源コードについて

抜き差しはプラグを持つ



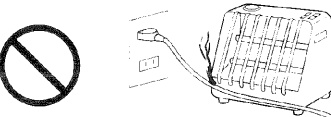
- コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない



- 感電する恐れがあります。

熱器具に近づけない

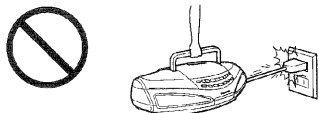


- コードのビニール部分が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

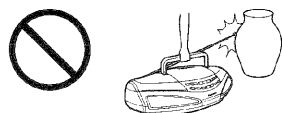
持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

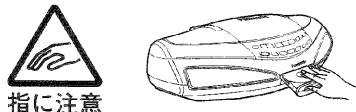
アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない



- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

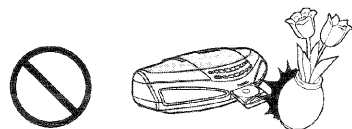
ご使用について

ディスク挿入口の奥には手を入れない



- 閉まるときにはさまれてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

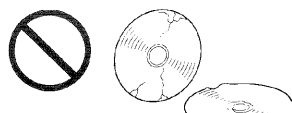
機器の前にものを置かない



- ディスク挿入部が開いたとき、ものに当たって倒れたりして、けがの原因になることがあります。

ご使用について

ひび割れ、変形したディスクは使わない



- 高速回転しますので、飛び散ってけがの原因になることがあります。
- 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器に乗らない



- 倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

使用後は、電源を切る前に音量を絞る



- 突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。
- 電源「切」のときに誤って音量を大きくしてしまわないよう、ご注意ください。

安全上のご注意 (つづき)

注意

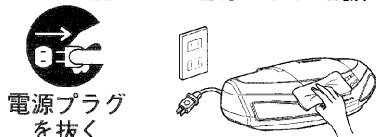
ご使用について

長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく



お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く



●入れたままにしておくと、感電の原因になることがあります。

電池について

以下のことを守り正しく取り扱う

- ⊕ と ⊖ は正しく入れる
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- 長期間使用しないときは、取り出ししておく
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 乾電池の代用として、充電式電池を使わない

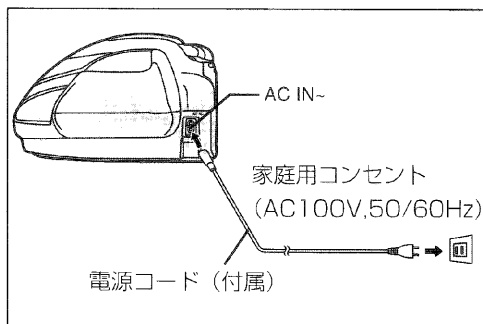


- ・ 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- ・ 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- ・ 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電源の準備

家庭用コンセントまたは別売りの単1形乾電池で使えます。

家庭用コンセントで使う

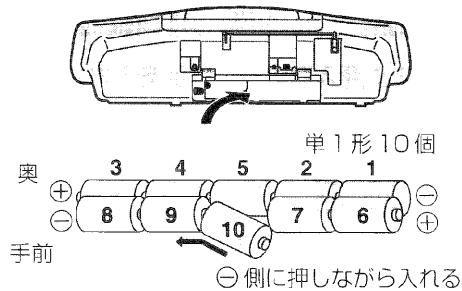


乾電池 (別売り) で使う

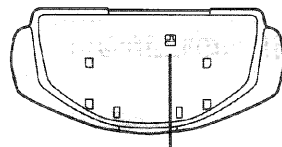
電源コードを本体から抜くと、乾電池電源に切り換わります。

- ・ メモリー用乾電池 (7 ページ) を先に入れておいてください。
- ・ 乾電池の出し入れは、本機の前面に傷が付かないよう柔らかい布を敷いて行ってください。

- ① 本機後面の電池ふたを開ける
- ② 下図の番号順に乾電池を入れる



・ 出すときは



底面の穴に指を入れて押し出す。

乾電池の交換時期

電源「入」時に、本体前面の電源/電池寿命確認ランプが消えている (または暗い) ときは、乾電池を 10 個とも交換してください。

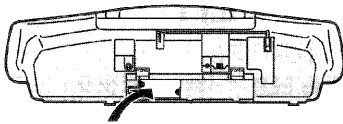
リモコンの準備

メモリー用乾電池（別売り）

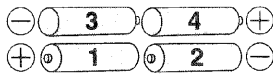
時計やタイマー、CDの予約内容、記憶させた放送局が消えるのを防ぐため、お使いになることをおすすめします。

メモリー用乾電池を使用していないと、以下のときメモリーが消えます。

- ・ 停電したとき
- ・ 電源プラグをコンセントから抜いたとき
- ・ 乾電池で使用中に、コンセントに接続していない電源コードを本体に差し込んだとき

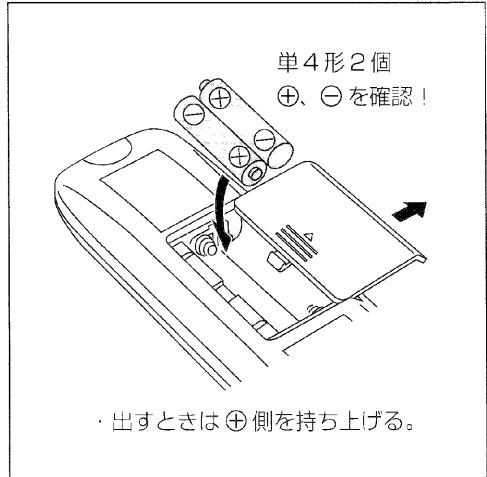


単3形4個
番号順に入れる

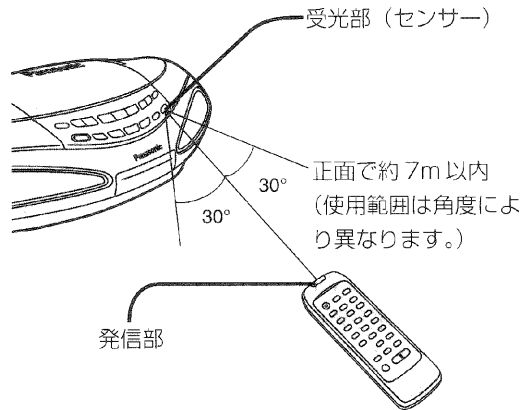


・ 出すときは4番の⊖側を押す。

乾電池（付属）の入れかた



リモコンの使用範囲



乾電池の交換

- ・ 乾電池の寿命は約1年です。
- ・ メモリーが消えないよう、電源コードをコンセントと本体に接続してから乾電池を交換してください。

●電源コードを抜くときは

電源を切ってから抜いてください。電源が入ったまま電源コードを抜くと、メモリー用乾電池の消耗が早くなります。

●長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。ただし、メモリー用乾電池を入れていないと再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。

電源スイッチで電源を切っただけの状態では、約2.1Wの電力を消費しています。

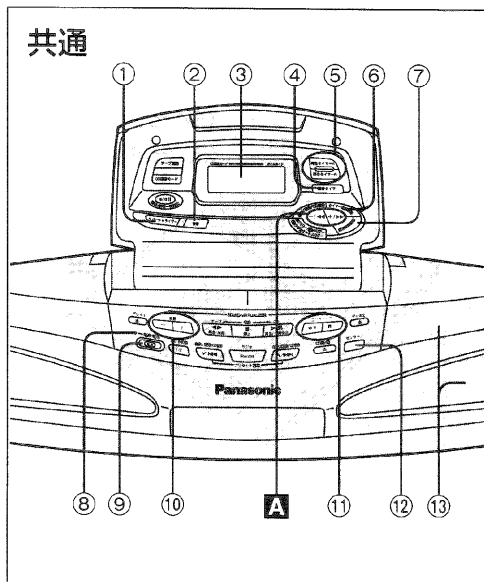
リモコン使用時は次のことをお守りください。

- ・ 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- ・ 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- ・ 受光部と発信部のほごりに注意。

乾電池の交換時期

- ・ 乾電池の寿命は約1年です。
- ・ リモコンを本体の近くで操作しても働かないときは、乾電池を2個とも交換してください。

各部のなまえ

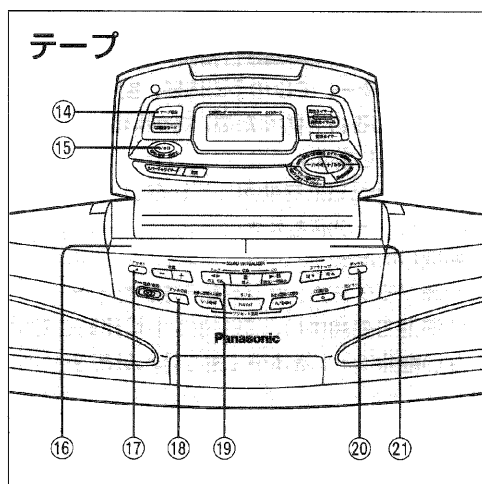


番号 なまえ 参照ページ

- ① Sバーチャライザー（音場効果）ボタン 21
- ② 音質ボタン 21
- ③ 表示パネル
- ④ タイマー録音動作設定ボタン 30
- ⑤ タイマー再生動作設定ボタン 29
- ⑥ タイマー時刻調整ボタン 28、30
- ⑦ 現在時刻調整ボタン 10
- ⑧ 電源 / 電池寿命確認ランプ 6
- ⑨ 電源ボタン 11、14、18
- ⑩ 音量調整ボタン 11、14、18
- ⑪ コプラトップ開、閉ボタン 10
- ⑫ リモコン受光部 7
- ⑬ スピーカー

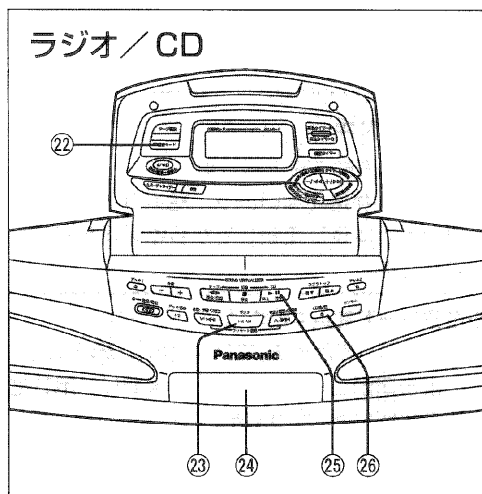
A は、ボタンを押すときの動作状態によっては
はたらきが変わります。

動作状態	はたらき	参照
時刻調整	時刻を合わせる	10
ラジオ	選局する	14
CD	予約する曲を選ぶ	20



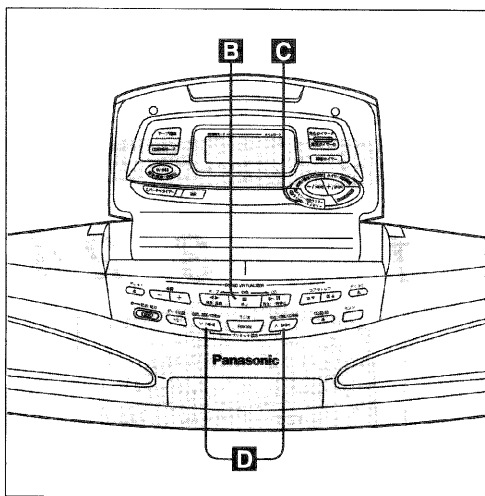
番号 なまえ 参照ページ

- ⑭ テープ編集ボタン 26
- ⑮ ●/●|| 録音 / 一時停止ボタン 22 ~ 27
- ⑯ デッキ 1
- ⑰ ▲ デッキ 1（カセットふた開け）ボタン
- ⑱ デッキ 1 / 2 切換ボタン 12
- ⑲ ◀▶ テープ再生 / 反転ボタン 11
- ⑳ ▲ デッキ 2（カセットふた開け）ボタン 11
- ㉑ デッキ 2



番号 なまえ 参照ページ

- ⑳ CD 録音モードボタン 24、25
- ㉑ FM/AM 切換ボタン 14 ~ 17
- ㉒ CD トレイ
- ㉓ ▶/|| CD 演奏 / 一時停止ボタン 18
- ㉔ ▲ CD（トレイ開 / 閉）ボタン 18



B は、ボタンを押すときの動作状態によってははたらきが変わります。

動作状態	はたらき	参照
テープ再生中/ CD 演奏中	再生 / 演奏を止める	11 18
停止中 (テープ CD)	(押すたびに) CD と テープを切り換える	11 18

C は、ボタンを押すときの動作状態と押しかたによってははたらきが変わります。

・ラジオのとき

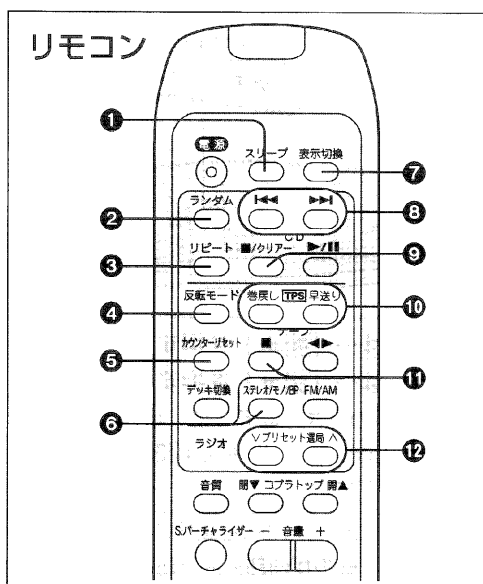
押しかた	はたらき	参照
ポンと押す	マニュアルメモリー	16
長押しする	オートメモリー	16

・CD のとき

押しかた	はたらき	参照
ポンと押す	予約する	20
長押しする	予約を取り消す	20

D は、ボタンを押すときの動作状態によってははたらきが変わります。

動作状態	はたらき	参照
テープ停止中	早送り、巻戻しする	12
テープ再生中	曲の頭出しをする	12
ラジオ	プリセット選局する	17
CD 停止 演奏中	曲をとび越す	19
CD 演奏中	早送り、早戻しする	19



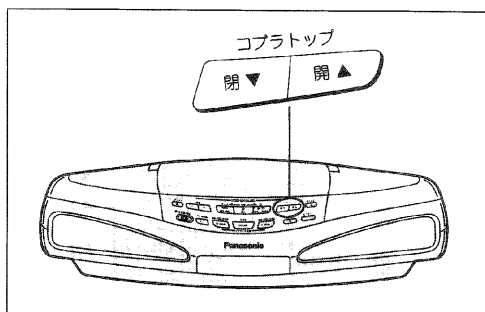
番号 なまえ 参照ページ

- ① スリープ (おやすみタイマー) ボタン …… 32
- ② ランダム演奏ボタン …… 19
- ③ リピート (くり返し) ボタン …… 19
- ④ 反転モードボタン …… 13
- ⑤ カウンターリセットボタン …… 13
- ⑥ ステレオ/モノ / BP (ステレオ/モノラル
切換、ビートブルーフ) ボタン …… 15、27
- ⑦ 表示切換ボタン …… 10
- ⑧ ◀◀、▶▶ [CD 選曲 (スキップ/サーチ)]
ボタン …… 19
- ⑨ ■ / クリアー (CD 停止 / クリアー)
ボタン …… 18、20
- ⑩ テープ巻戻し / 早送り、頭出し (TPS)
ボタン …… 12
- ⑪ ■ (テープ停止) ボタン …… 11
- ⑫ V、^ プリセット選局ボタン …… 17

番号のないボタンは、本体のボタンと同じはたらきをします。

コブラトップを開閉する

リモコンのみ



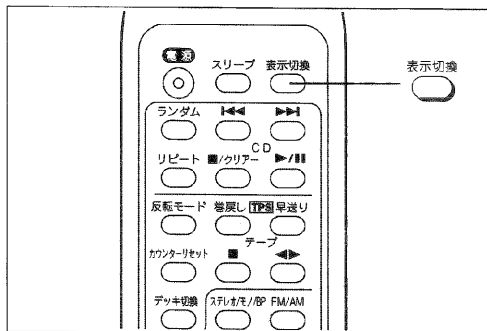
開けるには…「開▲」を押す
閉めるには…「開▼」を押す

乾電池電源のとき、電源「切」状態ではリモコンで操作できません（本体で電源を入れてから、操作してください）。

コブラトップの上にものを載せないでください。開閉時に、ものが内部に入り込み、感電、火災や故障の原因になります。

表示を切り換える

リモコンのみ



電源「入」状態で「表示切換」を押す
押すたびに切り換わります。

●テープのとき

テープカウンター ↔ 現在時刻

●ラジオ・CDのとき

→ 周波数・演奏状態 → 現在時刻
← テープカウンター ←

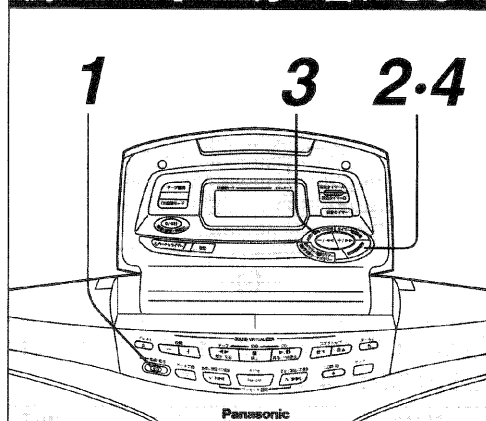
・テープが入っていないと、テープカウンターは“-----”と表示します。

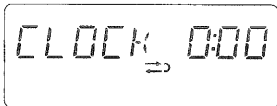
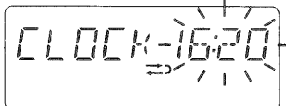
時計を合わせる

時計は24時間表示です。



例：16時20分に合わせる



- 1 電源を入れる
- 2 「現在時刻調整」を押して“CLOCK”を表示させる

- 3 「+ / ▶▶」、「- / ◀◀」を押して時刻を合わせる
 ポンポンと押すと1分ごとに、長押しすると連続して動きます。
 点滅

- 4 時刻表示の点滅中に「現在時刻調整」を押す
 時報に合わせて押すと正確に合わせることができます。
 時計合わせが終わり、元の表示に戻ります。

時刻を確認するには

リモコンのみ

「表示切換」を押す

テープを聞く

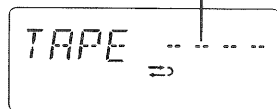
デッキ1、2のどちらでも再生できます（ここではデッキ2で説明します）。

・ノーマルポジション、ハイポジションとメタルポジションのテープが使えます。

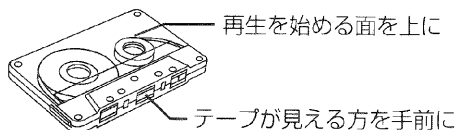
準備：電源を入れる
(乾電池電源のとき)

1 テープに切り換える
CD ↔ TAPE
(押すたびに切り換わります。)

テープが入っていないことを表します。

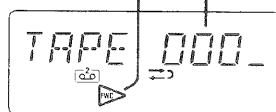


2 カセットふたを開け、
テープを入れて閉める



ふたを閉めると、走行方向は自動的に▶になります。

テープカウンター



再生を止める

3 再生を始める

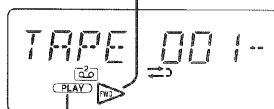
"FWD"を表示し、再生が始まります。

(◀表示中に再生を始めると、
"REV"と表示します。

▶表示中：上の面を再生

◀表示中：反対面を再生

走行方向表示



再生中は点灯

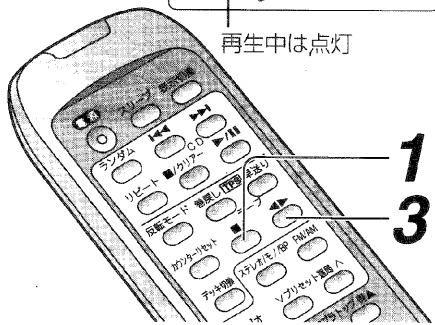
テープの反対面を聞く
(走行方向を切り換える)

音量調整する

再生できるテープについて

テープの種類を自動的に判別します。

ノーマルポジション Normal position/TYPE I	○
ハイポジション High position/TYPE II	○
メタルポジション Metal position/TYPE IV	○



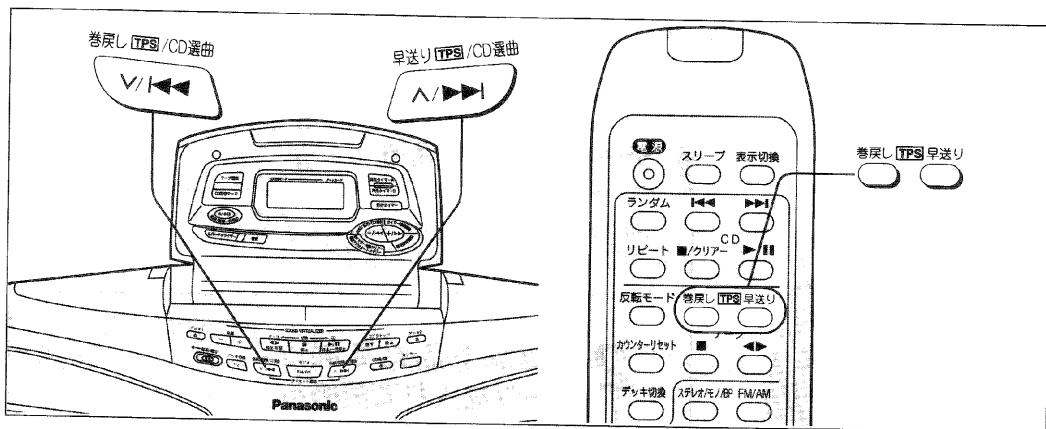
●乾電池電源のとき

リモコンの「電源」を押して電源を入れることはできません。



ワンタッチプレイ（家庭用コンセント使用時のみ）
テープが入っていると、電源「切」状態から「◀▶」を押すだけで、電源が入り再生が始まります。

テープを聞く (つづき)

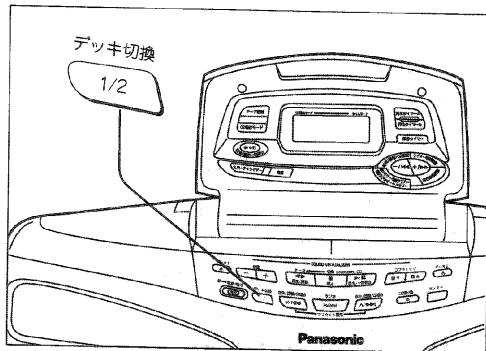


早送り、巻戻しする
停止中に押す

	巻戻し	早送り
本体で	V / ◀◀	▶▶ / ∧
リモコンで	巻戻し [TPS]	[TPS] 早送り

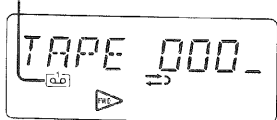
操作するデッキを切り換える

あとからテープを入れたほうのデッキに自動的に切り換わります。



デッキ 1/2 を切り換えるには
「デッキ切換 1/2」を押す

操作できるデッキの表示が点灯



- ・早送り／巻戻し中にもう一方のデッキで再生を始めると、早送り／巻戻しは止まります。
- ・テープ再生中にもう一方のデッキで早送り／巻戻しを始めると、再生は止まります。

曲の頭出しをする (TPS)

TPS = テープ プログラム センサー
Tape Program Sensor

ボタンを押した数だけ曲をとび越します (前後9曲まで)。

再生中に押す

	後退する	前進する
本体で	V / ◀◀	▶▶ / ∧
リモコンで	巻戻し [TPS]	[TPS] 早送り



途中でテープの終端にきたときは、現在の反転モードに合わせて動きます。

ご参考

曲の頭出しは、曲間の無音部を利用するため、テープが以下の状態のとき正しく働かないことがあります。

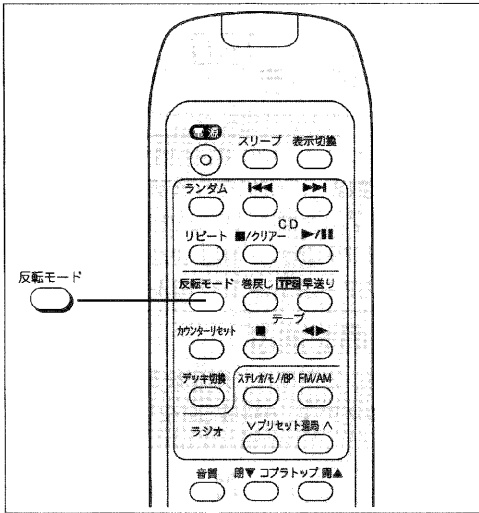
- ・曲の間の無音部が4秒未満のとき
- ・無音部がないとき (マイクから録音したときなど)
- ・曲の中で特にレベルの低いところや無音部があるとき (クラシックなど)
- ・曲が始まって10秒以下しか経っていない、または次の曲の始まりまでが10秒以下のとき
- ・曲がフェードイン (徐々に大きくなる)、フェードアウト (徐々に小さくなる) のとき

頭出し中にもう一方のデッキでテープの再生または早送り／巻戻しを始めると、頭出しの動作は止まります。

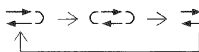
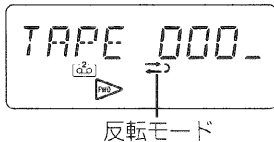
反転モードを選ぶ

リモコンのみ

片面再生、両面再生または連続再生に切り換えることができます。



「反転モード」を押して選ぶ



(押すたびに表示が切り換わります。)

- ↔ : 上の面から反対面を1回再生して自動停止
- ↔↔ : 「■停止」を押すまで両面をくり返し再生(両方のデッキにテープが入っているときは、両方のテープを連続再生)
- ↔ : 片面だけ再生して自動停止

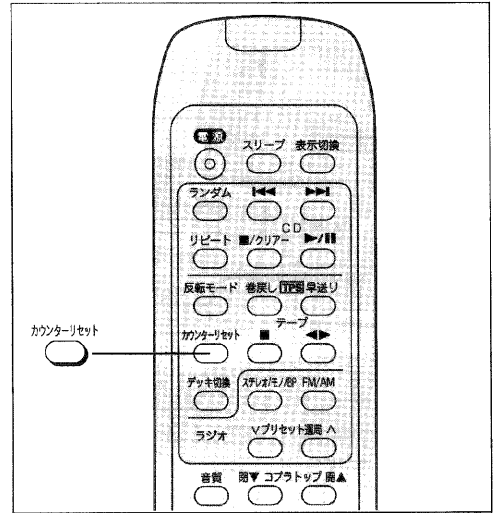
● 2本のテープを続けて聞くには

- ① デッキ1、2にテープを入れる
- ② リモコンの「反転モード」を押して↔↔を表示させる
- ③ 「デッキ切換 1/2」を押して先に再生を始めるデッキを表示させる
- ④ 「◀▶」を押して再生を始める
「■停止」を押すまで連続再生します。

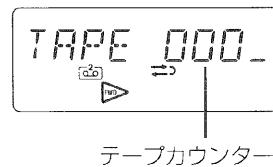
テープカウンターを000にするには

リモコンのみ

テープカウンターは、テープ走行時にテープ位置のめやすとして使います。



「カウンターリセット」を押す



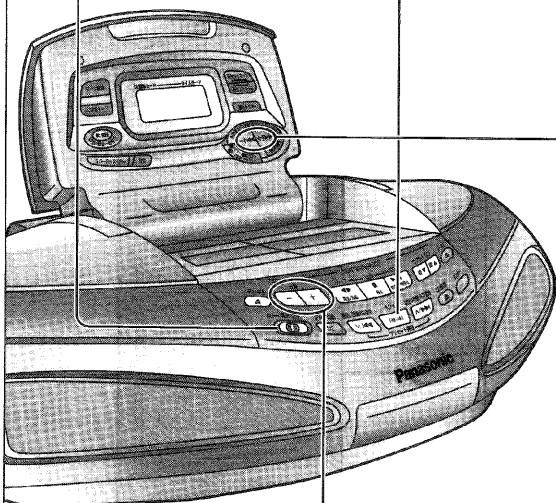
テープカウンター



ラジオを聞く

FMはステレオで、テレビ（1～3チャンネル）とAMはモノラルです。

準備：電源を入れる
(乾電池電源のとき)



1 “FM” または “AM” を選ぶ

FM(TV)⇔ AM
(押すたびに切り換わります。)

F M 76.0
⇒

テレビ1～3chは、FMの
周波数表示の間にあります。

95.7 - 1ch - 95.8MHz
101.7 - 2ch - 101.8MHz
107.7 - 3ch - 107.8MHz

2 放送局を選ぶ

ポンポンと押すと、周波数表示が、FMは
0.1MHzずつ、AMは9kHzずつ動きます。

F M 82.4
⇒ TUNED

点灯するように周波数を合わせ
ます（電波が弱いと点灯しなかつ
たり、ちらついたりします）。

音量調整する



自動で選局するには

上記手順2で、周波数が連続して動き出すまで
「+ / ▶▶」または「- / ◀◀」を長押しします。
放送局を受信すると表示が止まります。

周波数表示が動き続けるのを中断するには、
「+ / ▶▶」または「- / ◀◀」をポンと押します。

●自動選局で受信できないときは

周辺の妨害電波によって、放送局を受信しな
いのにも止まることがあります。このときは
「+ / ▶▶」または「- / ◀◀」をポンポンと押
して選局してください。

●乾電池電源のとき

リモコンの「電源」を押して電源を入れるこ
とはできません。

●本機のTV受信回路について

FM受信回路と兼用しているため、地域によっ
てはTVの2または3チャンネルにFM放送
が混信することがあります。

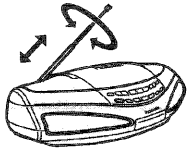


ワンタッチプレイ（家庭用コンセント使用時のみ）
電源「切」の状態ですら「FM/AM」を押すだけで、
前に聞いていた放送局を受信できます。

アンテナを調整するには

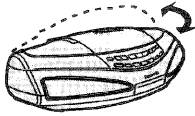
FM

ホイップアンテナの長さや向きを調整する



AM

本機の向きを調整する

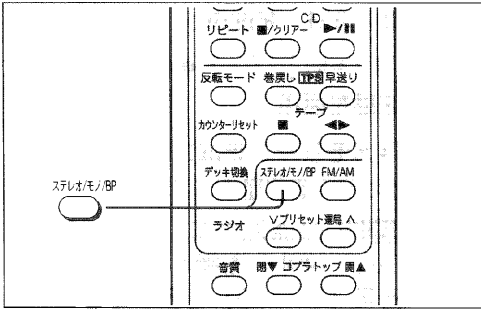


●乗り物や建物の中では
電波が弱まるため聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

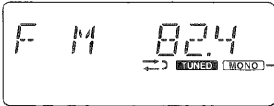
**FMステレオ放送で雑音が多いときは
(ステレオ/モノラル切換)**

リモコンのみ

音声をもノラルにして雑音を少なくします。



「ステレオ/モノ/BP」を押して **MONO** を点灯させる



モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
ステレオ音声に戻すには、もう一度押します。

通常は **MONO** を消しておいてください。ステレオ放送はステレオ音声で、モノラル放送はモノラル音声で聞くことができます。

海外で使うときは

AM放送の受信

本機は9kHzごとに周波数が切り換わりますが、北米、中南米、東南アジアの一部の地域では10kHzに切り換えると使うことができます(ワールドワイドチューナー)。

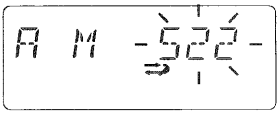
●10kHzに切り換えるには

本体のみ

“FM”表示中に、周波数が以下のように変わるまで「FM/AM」を押し続ける(約10秒間)

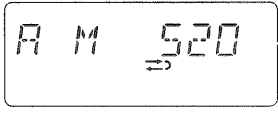
約5秒後

点滅を始めます。



約5秒後

10kHzに切り換わったら手を離します。



元に戻すには、もう一度同じ操作をします。
・AMのプリセットチャンネルの記憶は消えます(16ページ)。
・おめざめタイマーまたは留守録タイマーでAM放送を予約していたときは、タイマー動作の設定は解除されます。

FM放送の受信

本機は0.1MHzごとに周波数が切り換わるため、0.05MHzごとに切り換わる地域では、正確に受信できないことがあります。

ラジオを聞く (つづき)

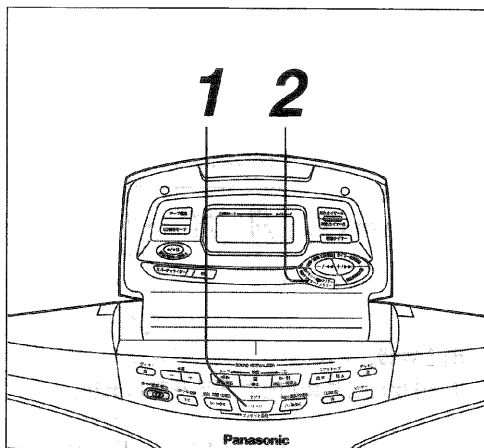
放送局を記憶させる


あらかじめ放送局の受信周波数を記憶させておくと、簡単に選局できます (FM、AM 各 10 局まで)。

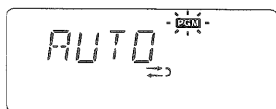
FM の放送局を記憶させるときは、アンテナを伸ばしておいてください。

FM、AM 各バンドで記憶させてください。

自動で記憶させる (オートメモリー)



- 1 「FM/AM」を押して「FM」または「AM」を選ぶ
FM (TV) ⇄ AM
(押すたびに切り換わります。)
- 2 「AUTO」を表示するまで「 ラジオオートメモリー」を押し続ける



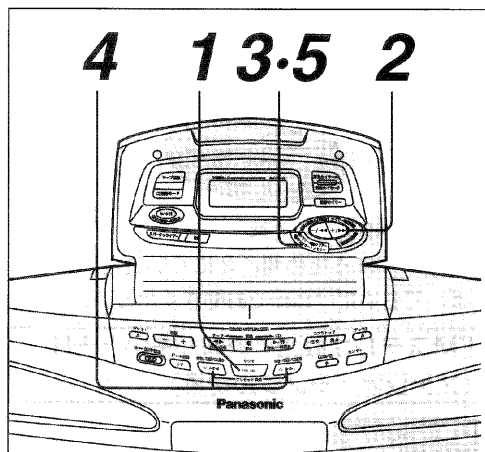
周波数が動き始め、受信した放送局を次々に記憶していきます。



動作が終わると、プリセット番号の 1 番に記憶した放送局を受信します。

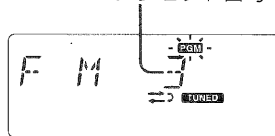
- オートメモリーする前にプリセット番号に記憶していたとき
オートメモリーで新たに記憶し直すと、前の記憶は消えます。
- 放送局が正しく記憶できないときは
右の手順で手動で 1 局ずつ記憶させてください。

手動で 1 局ずつ記憶させる (マニュアルメモリー)

各バンドで記憶させてください。

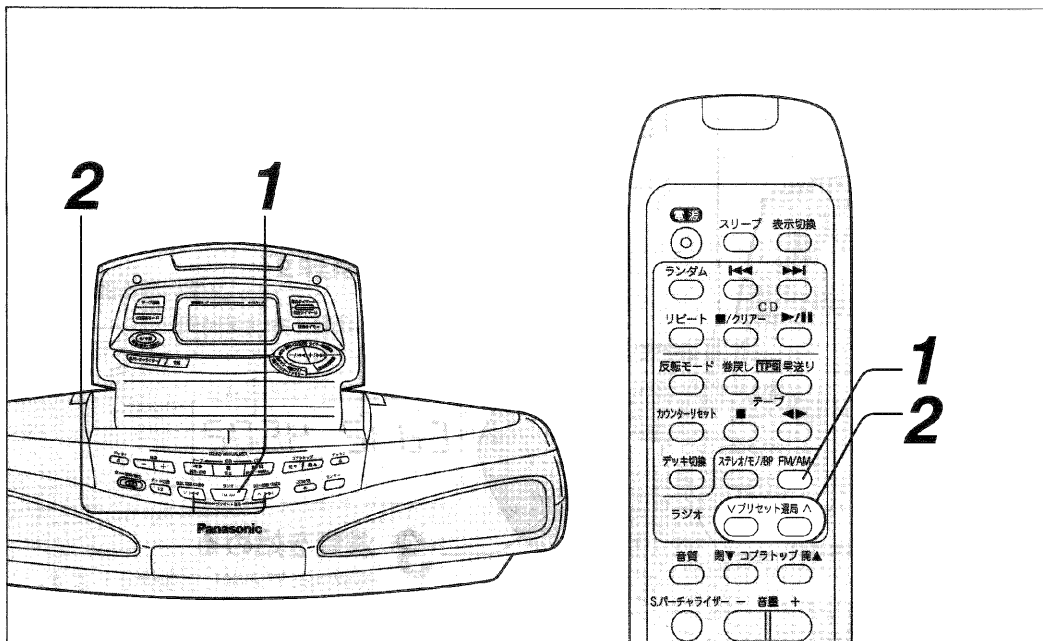


- 1 「FM/AM」を押して「FM」または「AM」を選ぶ
- 2 「+/▶▶」、「-/◀◀」を押して放送局を選ぶ
- 3 「メモリー」をポンと押す
表示部の **PGM** が点滅します。
- 4 **PGM** の点滅中に「 / ▶▶」、「 / ◀◀」を押してプリセット番号 (1 ~ 10) を表示させる
プリセット番号



- 5 **PGM** の点滅中に「メモリー」をポンと押す
操作の途中で点滅が消えたら、手順 3 からやり直してください。
- 6 手順 2 ~ 5 をくり返して他の放送局を記憶させる

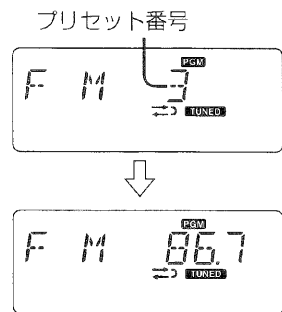
記憶させた放送局を聞く (プリセット選局)



1 「FM/AM」を押して“FM”または“AM”を選ぶ

2 好みのプリセットチャンネルを選ぶ

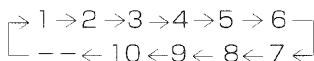
	下がる	上がる
本体で	V / ◀◀	∧ / ▶▶
リモコンで	V	∧



オートメモリーで記憶された不要なプリセット番号を消すには

《例》プリセット番号の3が不要なとき

- ①プリセット番号3を表示させる (左記手順1、2)
- ②「●メモリー」をポンと押す (PGM が点滅)
- ③PGM の点滅中に、プリセット番号表示が“--”になるまで「∧ / ▶▶」または「V / ◀◀」を何度も押す



(押すたびに表示が切り換わります。)

- ④「●メモリー」をポンと押す

次からプリセット選局するときは、プリセット番号3をとばして1→2→4→5→6…のように表示されます。



CDを聞く

準備：電源を入れる
(乾電池電源のとき)

1 CDに切り換える
CD ↔ TAPE
(押すたびに切り換わります。)

この表示は、CDが入っていないことを表します。

CD → NO DISC

2 CDトレイを開け、CDを入れてもう一度押す
文字のある面を上にして

CDの曲数 総演奏時間

CD 12 46:02

3 演奏を始める
最終曲まで演奏し自動停止します。
演奏中の曲の経過時間

演奏中の曲番

CD 1 00:01

演奏を止める

一時停止する
再び演奏するにはもう一度押す

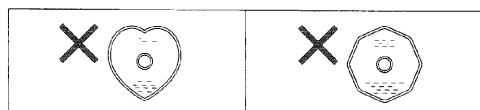
音量調整する

●乾電池電源のとき

リモコンの「電源」を押して電源を入れることはできません。

●他の機器（ラジオ、TVなど）に雑音が入ったらできるだけ本機と離してご使用ください。

●ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使えません。



ポイント

- ・CDトレイを開けたまま「▶/||」を押すと、自動的にトレイが閉まって演奏が始まります。
- ・CDトレイを開けたまま「電源」を押すと、自動的にトレイが閉まってから電源が切れます。
- ・ワンタッチプレイ（家庭用コンセント使用時のみ）CDが入っていると、電源「切」状態から「▶ ||」を押すだけで電源が入り、CDの1曲目から演奏が始まります。

曲をとび越す(スキップ) **A**

とび越す回数だけポンポンと押す

	後退する	前進する
本体で	V / ◀◀	∧ / ▶▶
リモコンで	◀◀	▶▶

早送り・早戻しする(サーチ) **A**

演奏中／一時停止中に長押しする

	後退する	前進する
本体で	V / ◀◀	∧ / ▶▶
リモコンで	◀◀	▶▶

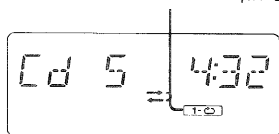
くり返し聞く(リピート)

リモコンのみ **B**

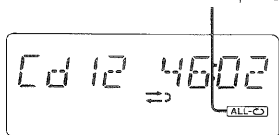
1-CD → ALL-CD → 消灯(解除)

(押すたびに表示が切り換わります。)

1曲だけをくり返す

くり返したい曲番の表示中または演奏中に「リピート」を押して **1-CD** を点灯させる

全曲をくり返す

「リピート」を押して **ALL-CD** を点灯させる

好みの曲を選んでくり返す

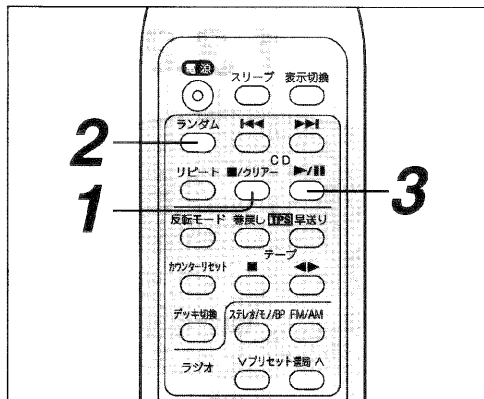
- ① 20 ページ手順 1～4 で好みの曲を予約する
- ② 「リピート」を押して **ALL-CD** を点灯させる
- ③ 「▶ / ||」を押して演奏を始める

解除するには

「リピート」を押して **1-CD** または **ALL-CD** 表示を消す

順不同に聞く(ランダム)

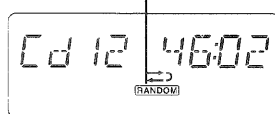
リモコンのみ



1 「■/クリアー」を押してCDに切り換える

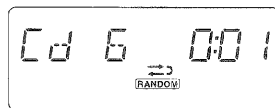
2 停止中に「ランダム」を押す

点灯

演奏中に「ランダム」を押しても **RANDOM** は点灯しません。

3 「▶ / ||」を押す

順不同に演奏して自動停止します。



解除するには

「ランダム」を押して **RANDOM** 表示を消す

・ランダム演奏中に解除すると、演奏中の曲から最終曲まで演奏し自動停止します。

注) ・好みの曲だけを選んでランダム演奏することはできません。

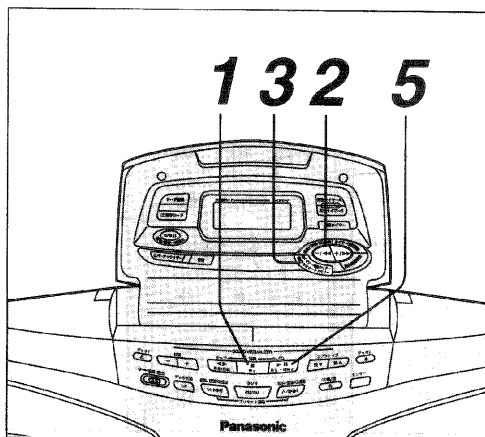
・曲をとび越すときは、後退することはできません。

・早送り、早戻しは演奏中の曲の中でだけできます。

CDを聞く(つづき)

好みの曲を予約して聞く(プログラム演奏)

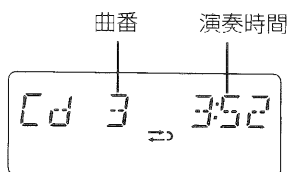
最大36曲まで選んで好みの順に予約できます。



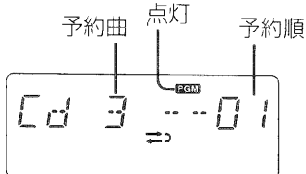
演奏

1 「■停止」を押してCDに切り換える
[RANDOM]表示が点灯しているときは、リモコンの「ランダム」を押して消灯させてください。

2 「+ / ▶▶」、「- / ◀◀」を押して曲番を表示させる

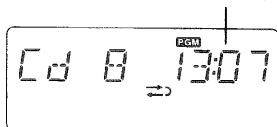


3 「●メモリー」を押して予約する



4 手順2、3をくり返して続けて予約する

予約した曲の合計演奏時間



5 「▶ / III」を押して演奏を始める
予約順に演奏し自動停止します。

解除するには

本体で

停止中に「CLEAR」を表示するまで「●メモリー / ■クリアー」を長押しする

リモコンで

停止中に「■/クリアー」を押して「CLEAR」を表示させる

こんなときもプログラム演奏は解除されます。

- ・「▲CD開/閉」を押したとき
- ・メモリー用乾電池を入れずに、電源コードを抜いたとき(7ページ)

「--:--」と表示されたら

予約曲の合計演奏時間が120分を超えました。ただし、予約や演奏はできます。

「FULL」と表示されたら

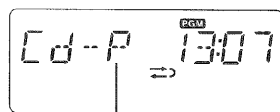
すでに36曲予約されています。これ以上予約できません。

予約内容を確認するには

停止中に「^ / ▶▶」、「V / ◀◀」を押すたびに曲番と演奏順が表示されます。

予約曲のメモリーについて

予約した内容は、途中で演奏を停止したり、電源を切っても記憶しています。



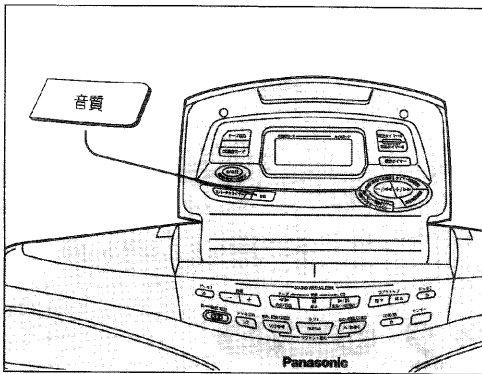
予約内容を記憶していることを表します。



音質を切り換える

(プリセットイコライザー)

4種類の音質を選べます。



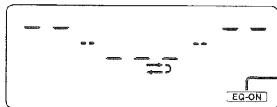
「音質」を押して好みの音質を選ぶ

押すたびにそれぞれの音質をイメージする表示が切り換わります。

音質の効果と表示

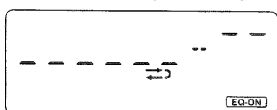
適した音楽

低音部と高音部を強調 (HEAVY)



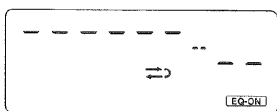
ロックなどにパンチを効かせる。
点灯 ←

高音部を強調 (CLEAR)



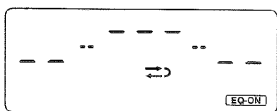
ポップスなどを軽やかにする。

高音部を抑える (SOFT)



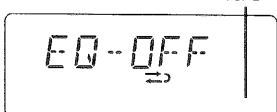
BGM的に楽しむ。

中音部を強調 (VOCAL)



ボーカルを引き立てる。

消灯



音質効果を使わない

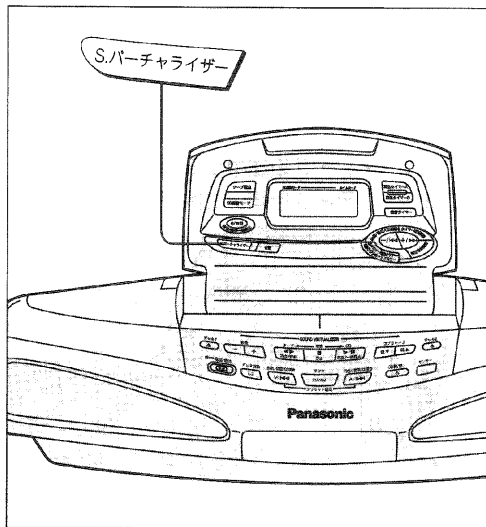
・録音するときに音質を変えても、録音されるテープには影響ありません。

音場効果を使う

(サウンドバーチャライザー)

音場効果を使うことにより、立体的な音場感が楽しめます。従来のサラウンドに比べ、ボーカルなどの中音部を安定させたまま、さらに音楽に自然な拡がりとお行きを与えます。

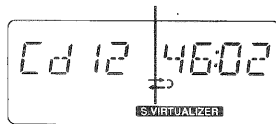
ステレオ音声に効果があります。



音場効果を使うには

「S.バーチャライザー」を押して

S.VIRTUALIZER を点灯させる



解除するには

「S.バーチャライザー」を押して **S.VIRTUALIZER** を消す

- ・ヘッドホンで聞くときは
本機のスピーカーから聞くよりも効果が少なく聞こえます。
- ・高音が強すぎると感じたときは
音楽によっては、高音部が聞きづらくなるものがあります。このときは、音質を切り換えて(左記)聞きやすいように調整してください。
- ・FMステレオ放送で雑音が多いときは
音場効果により雑音が多くなったときは、解除してください。
- ・録音するときに音場効果を聞かせても、録音されるテープには影響ありません。

CD を録音する (デッキ2のみ)

録音を開始すると同時に CD の演奏が始まります。

・ノーマルポジションとハイポジションのテープが使えます。

準備：CD を入れる

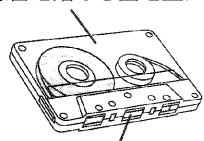
1 デッキ2のカセットふたを開け、テープを入れる

CD の演奏時間より長めのテープをご用意ください。

カセットふたを開けると、走行方向は自動的に ▶ になります。

- ・テープの始めから録音するとき
リーダーテープを巻き取る (23 ページ)
- ・テープの途中から録音するとき
テープを聞いて録音を始める位置を頭出しする

録音を始める面を上

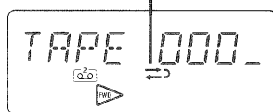


テープが見えるほうを手前に

2 リモコンのみ

反転モードを選ぶ

- ↔、↔↔：上の面から反対面を録音して自動停止
 - ↔↔：片面だけ録音して自動停止
- 反転モード



3 CD に切り換える

CD ↔ TAPE

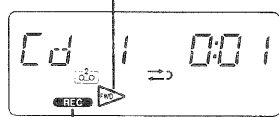
(押すたびに切り換わります。)

録音を止める

4 録音を始める

“FWD REC” を表示し、録音と同時に CD の演奏が自動的に始まります。◀ 表示中に録音を始めると、“REV REC” と表示します。

録音方向表示



点灯 (一時停止中は点滅)

録音を一時停止する
(CD も一時停止します。)
再び録音するにはもう一度押す

録音が終わると

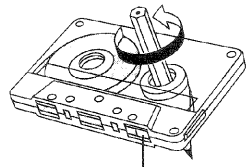
CD の演奏が終わると、テープの録音も停止します。

テープのつぎに別の CD を録音するには

「▲CD 開/閉」を押して CD を入れ換え、「●/●||」を押すその位置から続けて録音できます。

リーダーテープを巻き取るには

テープの端のリーダーテープ（色の違う部分）を巻き取っておかないと、曲の始めが切れます。



リーダーテープ（録音できない）

好みの曲を録音するには

手順3で好みの曲を予約する
(20ページ手順1~4)

不要な曲をとばして録音するには

- ①録音中に「●/●||」を押して録音を一時停止する（CDも一時停止します。）
- ②「△/▶▶」、「▽/◀◀」を押して次に録音する曲番を表示させる
- ③「●/●||」を押して再び録音を始める

録音中、テープの反対面に切り換える

- ▶表示中に「◀▶」を押す
- ◀表示中には、「●/●||」を押して一時停止してから「▶▶」を押し、もう一度「●/●||」を押します。

注) 録音中、デッキ1は操作できません。

“E”が表示されます。

ご参考

- ・録音レベルは一定です。
- ・録音中に音量、音質や音場効果を変えても録音されるテープには影響ありません。
- ・録音をするときは、乾電池の消耗によるトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。

録音できるテープ

テープの種類を自動的に判別します。

ノーマルポジション Normal position/TYPE I	○
ハイポジション High position/TYPE II	○
メタルポジション Metal position/TYPE IV	×

・本機では、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音されないことがあります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽及び映像作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部 …………… ☎ (03) 3502-6551

北海道支部 …………… ☎ (011) 221-5088

盛岡支部 …………… ☎ (0196) 52-3201

仙台支部 …………… ☎ (022) 264-2266

大宮支部 …………… ☎ (048) 643-5461

東京支部 …………… ☎ (03) 3562-4455

西東京支部 …………… ☎ (03) 3232-8301

東京イベント
コンサート支部 …… ☎ (03) 5286-1671

立川支部 …………… ☎ (0425) 29-1500

横浜支部 …………… ☎ (045) 662-6551

静岡支部 …………… ☎ (054) 254-2621

中部支部 …………… ☎ (052) 583-7590

北陸支部 …………… ☎ (0762) 21-3602

京都支部 …………… ☎ (075) 251-0134

大阪支部 …………… ☎ (06) 244-0351

大阪北支部 …………… ☎ (06) 244-7077

神戸支部 …………… ☎ (078) 322-0561

中国支部 …………… ☎ (082) 249-6362

四国支部 …………… ☎ (0878) 21-9191

九州支部 …………… ☎ (092) 441-2285

鹿児島支部 …………… ☎ (0992) 24-6211

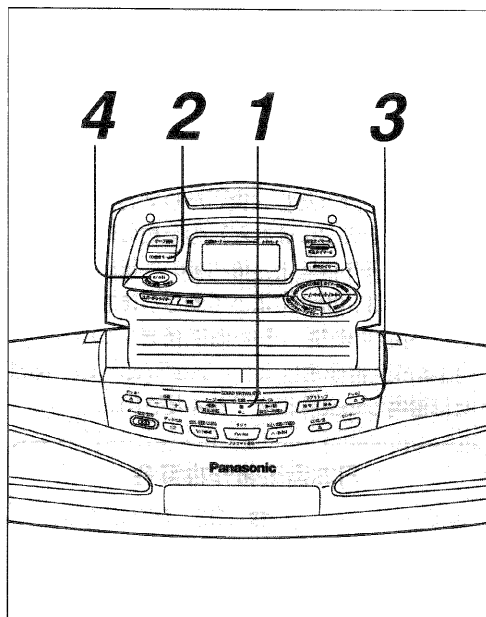
那覇支部 …………… ☎ (098) 863-1228

CDを録音する(つづき)

CDの全曲を自動で録音する(オートCD録音)

CDの全曲または予約した曲を予約順に録音します。

- ・テープを巻き戻しておく必要はありません。録音はいつも上の面の最初から始まります。
- ・曲の途中で上の面が終わると、途切れた曲は反対面に最初から録音し直されます。



録音

準備：CDを入れる

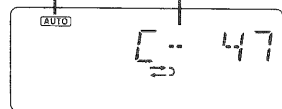
1 「■停止」を押してCDに切り換える

2 「CD録音モード」を押して
“AUTO”を表示させる

AUTO → 1-REC → OFF

(押すたびに表示が切り換わります。)
必要なテープの長さが表示されます。

点灯 例：全曲の録音には47分
以上のテープが必要



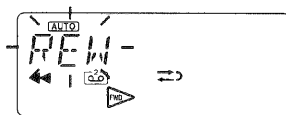
3 デッキ2のカセットふたを開け、必要な長さのテープを入れて閉める
録音を始める面を上に入れて入れます。

4 「●/●||」を押す

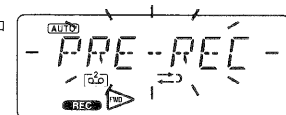
自動的にテープを巻き戻し、10秒間無音で録音したあと、CDの録音が始まります。

反転モードは↔になります。

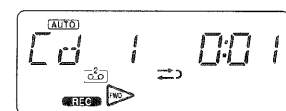
巻き戻し中



無音録音中
(10秒間)



録音開始



全曲の録音が終わると自動停止します。

録音を止めるには(CDも止まります。)

「■停止」を押す

好みの曲を録音するには

左記手順1で好みの曲を予約する
(20ページ手順1~4)

左記手順2で“C-----”と表示されたら

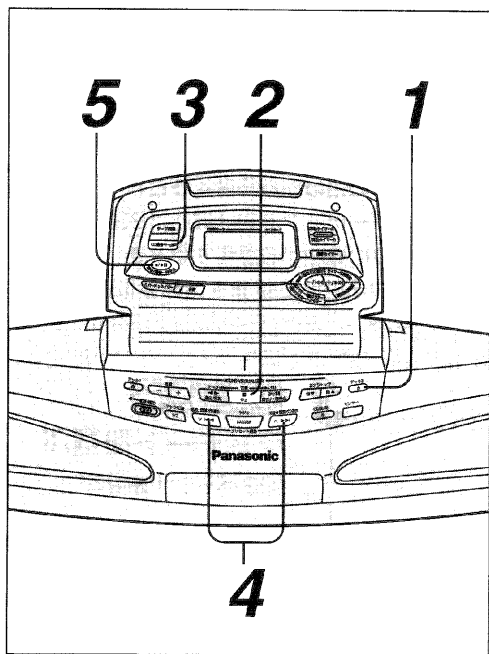
全曲を自動では録音できません。22ページの方法で録音してください。

注) ・ランダム演奏(19ページ)のオートCD録音はできません。

・録音中、デッキ1は操作できません。
“E”が表示されます。

1 曲だけ録音する (CD 1 曲ねらい録り)

CDの中から1曲だけ録音し停止します。たくさんのCDから1曲ずつ録音するとき便利です。
テープのどの位置からでも録音を始められます。



準備：CDを入れる

1 デッキ2のカセットふたを開け、テープを入れる

- ・ふたを閉めると、走行方向は自動的に▶になります。
- ・録音を始める面を上にして入れ、録音を始める位置を頭出ししておきます。

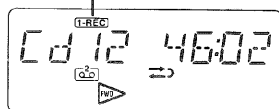
2 「■停止」を押してCDに切り換える

3 「CD録音モード」を押して“1-REC”を表示させる

AUTO → 1-REC → OFF

(押すたびに表示が切り換わります。)

点灯



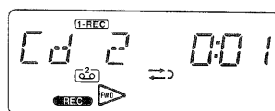
4 「△/▶▶」, 「▽/◀◀」を押して録音したい曲番を選ぶ

1曲目を録音するときはこの手順は不要です。

5 「●/●||」を押して録音を始める

CDの演奏と録音が同時に始まり、1曲だけ録音して停止します。

反転モードは ⇄ になります。



- ・曲の途中で上の面の終端がきて曲が途切れたときは、自動的に反対面の最初に録音し直されます (反対面から録音を始めたときは、その面の終わりで停止します)。

続けて別のCDを録音するには

「▲CD開/閉」を押してCDを入れ換え、手順4、5を行う

録音を止めるには (CDも止まります。)

「■停止」を押す

注) 録音中、デッキ1は操作できません。

“E”が表示されます。

ポイント

曲を聞いてみて確認してから録音する (おっかけ録音)

「CD録音モード」を押して「1-REC」を点灯させておいてCDを演奏し、気に入った曲があれば、演奏中に「●/●||」を押す
その曲を最初から録音します。

テープからテープへ録音する (テープダビング)

・メタルポジションのテープは再生用(デッキ1)にだけ使えます。

1 テープに切り換える

CD ↔ TAPE

(押すたびに切り換わります。)

2 デッキ1に再生用テープ、デッキ2に録音用テープを入れる

- ・テープの始めから録音するとき
リーダーテープを巻き取る (23 ページ)
- ・テープの途中から録音するとき
テープを聞いて録音を始める位置を頭出しする

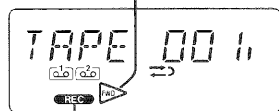
3 リモコンのみ

反転モードを選ぶ

(22 ページ手順2)

4 録音を始める

デッキ2の録音方向表示



点灯 (一時停止中は点滅)

録音を一時停止する

デッキ1、2ともに一時停止します。
再び録音するには「テープ編集」を押す

録音を止める

使用できるテープ

テープの種類を自動的に判別します。

テープの種類	再生	録音
ノーマルポジション Normal position/TYPE I	○	○
ハイポジション High position/TYPE II	○	○
メタルポジション Metal position/TYPE IV	○	×

・本機では、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音されないことがあります。

ご参考

- ・録音レベルは一定です。
- ・デッキ1、2には違う種類のテープが使えます。
- ・録音中に音量、音質や音場効果を変えても録音されるテープには影響ありません。
- ・録音をするときは、乾電池の消耗によるトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。
- ・本機とテレビを近づけると、テレビの電波の影響で雑音が入ることがあります。
1.5m以上離してご使用ください。

ラジオ放送を録音する (デッキ2のみ)

・ノーマルポジションとハイポジションのテープが使えます。

1 デッキ2のカセットふたを開け、テープを入れる

- ・テープの始めから録音するとき
リーダーテープを巻き取る (23 ページ)
- ・テープの途中から録音するとき
テープを聞いて録音を始める位置を頭出しする

2 放送局を選ぶ
(14～17 ページ)

3 リモコンのみ
反転モードを選ぶ
(22 ページ手順2)

4 録音を始める
“FWD REC” を表示し、録音が始まります。
◀表示中に録音を始めると、“REV REC” と表示します。

点灯 (一時停止中は点滅) 録音方向表示

録音を一時停止する
再び録音するにはもう一度押す

録音を止める

A

録音

AM 放送録音中、雑音 (ピーという音) が多
いときは (ビートブルーフ切換)

リモコンのみ **A**

「ステレオ / モノ / BP」を押して “bP1” が
“bP2” のうち雑音が少ないほうを選ぶ

録音中、テープの反対面に切り換える

▶表示中に「◀▶」を押す
◀表示中には、「●/●||」を押して一時停止
してから「▶◀」を押し、もう一度「●/●||」
を押します。

注) 録音中、デッキ1は操作できません。
“E” が表示されます。

ご参考

- ・録音レベルは一定です。
- ・録音中に音量、音質や音場効果を変えても録音されるテープには影響ありません。
- ・録音をするときは、乾電池の消耗によるトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。

録音できるテープ

テープの種類を自動的に判別します。

Normal position / TYPE I	○
High position / TYPE II	○
Metal position / TYPE IV	×

・本機では、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音されないことがあります。

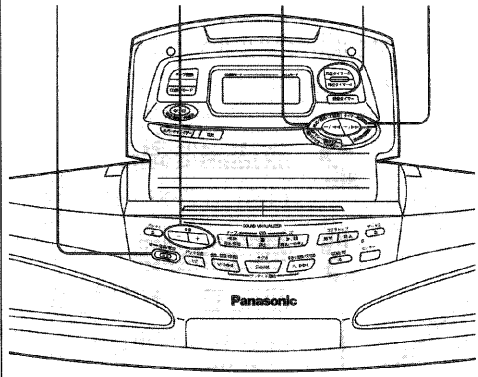
おめざめタイマーを使う (タイマー再生)

予約した時刻に、好みの音楽を好みの音量で再生できます。
再生の開始/終了時刻は、AとBの2種類を設定し、使い分けることができます。



《例》再生タイマーAで、7時から8時30分まで再生

1-8 6 3-4 7 2



時間を設定する

一度設定した時間は変更するまで記憶しています。

1 電源を入れる

時計を合わせてください (10 ページ)。

2 「タイマー時刻調整」を押してON

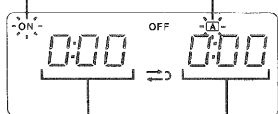
[A]または[B]を点滅させる

ON [A] → OFF [A] → ON [B] → OFF [B]

↑元の表示 ← OFF [REC] ← ON [REC]

(押すたびに点滅が切り換わります。)

点滅

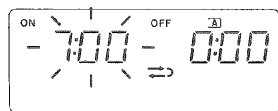


開始時刻 終了時刻

3

① ON [A] (または [B]) の点滅中に「+ / >>>」, 「- / <<<」を押して開始時刻に合わせる

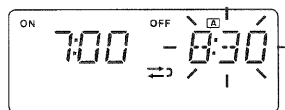
ボンボンと押すと1分ごとに、押し続けると高速で動きます。



② 「タイマー時刻調整」を押す
終了時刻が点滅します。

4

①「+ / >>>」, 「- / <<<」を押して終了時刻に合わせる



②「タイマー時刻調整」を押す
元の表示に戻ります。

“E”と表示されたら

開始時刻と終了時刻が同じになっていませんか。

再生内容を決める

5

聞きたい音楽を準備する

ラジオを聞く

放送局を選ぶ

CDを聞く

CDを入れ、「■停止」を押してCDに切り換える

- ・順不同に演奏するには
リモコンの「ランダム」を押して
[RANDOM]を点灯させる

- ・好みの曲を予約してタイマー再生するには
20 ページ手順2~4を行う (ただし、
CDトレイを開けると予約は取り消されます。)

テープを聞く

テープを入れ、「■停止」を押して
“TAPE”を表示させる

再生したいデッキが表示されていないときは、「デッキ切換 1/2」を押します。

●留守録タイマーと組み合わせるときは

再生用のテープは必ずデッキ1に入れ、[E]を点灯させてください。

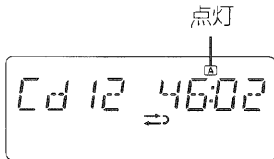
6

「音量 (+, -)」を押して再生時の音量を調整する

手順7の後に音量を変えても、タイマー再生時にはここで記憶した音量に戻ります。

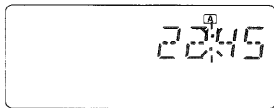
タイマー動作を設定する

- 7 「再生タイマー A (または B)」を押しして“PLAY”を表示させる
このときに表示されている音楽と音量で動作します。



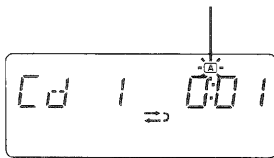
“E”と表示されたら
「時計を合わせる」(10 ページ)はお済みですか。

- 8 電源を切る



この状態で予約内容を確認できます
(31 ページ)。

↓ 予約時刻になって再生
が始まると点滅



タイマーを解除する

電源「入」時に「再生タイマー A (または B)」を押しして [A] (または [B]) 表示を消す
[A] の点灯中に「再生タイマー B」を押ししてタイマー再生 B を動作設定すると、タイマー再生 A は自動的に解除されます。



動作設定 (手順 7) のあとに演奏を楽しむ

- ① 演奏を始める
このとき音量や演奏する音楽を変えても、タイマー再生時には予約した内容に戻ります。
- ② 演奏後、電源を切る
・テープのタイマー再生は、電源を切る前に表示されているデッキと走行方向で動作します。演奏を楽しんだ後は、タイマー再生するデッキと走行方向を確認してから電源を切ってください。
・CD をタイマー再生するときは、電源を切る前に、ランダム、リピート、プログラムの設定を確認してください。

注) 指定した開始時刻になる前に、必ず電源を切ってください (手順 8)。電源が入っているとタイマーは動作しません。

聞きたい音楽 (CD、ラジオ、テープ) と音量を変える

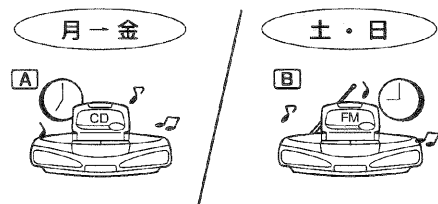
「再生タイマー A (B)」を押しして [A] (または [B]) を消したあと、手順 5～8 を行う

毎日同じ時刻で使う

[A] (または [B]) の点灯を確認して電源を切る
おめざめタイマーは、[A] ([B]) を消さない限り、予約内容に従って毎日動作します。

おめざめタイマー A と B を使い分ける

【例】平日は 7:00 から目覚まし代わりに CD を聞き、休日は 9:00 から FM 放送を聞く



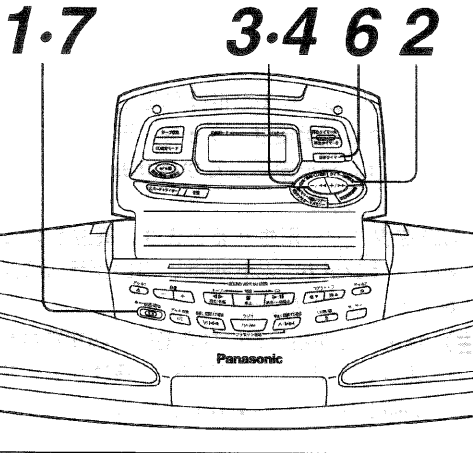
- ① おめざめタイマー A で CD 演奏を予約する
- ② おめざめタイマー B で FM 放送を予約する
- ③ 平日は [A] を、休日には [B] を点灯させる (左記手順 5～7)

● A と B を同時に点灯させることはできません。

留守録タイマーを使う (タイマー録音)

指定した時刻に、ラジオ放送を録音できます。

《例》13時から14時30分までの録音を予約する



時間を設定する

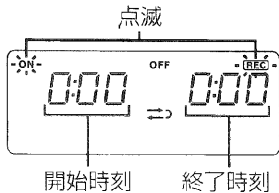
一度設定した時間は変更するまで記憶しています。

1 電源を入れる

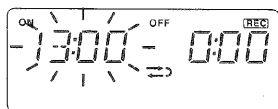
時計を合わせてください (10 ページ)。

2 「タイマー時刻調整」を押して ON [REC] を点滅させる

ON [A] → OFF [A] → ON [B] → OFF [B]
 ^元の表示 ← OFF [REC] ← ON [REC]
 (押すたびに点滅が切り換わります。)

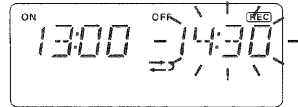


3 ① ON [REC] の点滅中に「+ / ▶▶」、 「- / ◀◀」を押して開始時刻に合わせる ポンポンと押すと1分ごとに、押し続けると高速で動きます。



②「タイマー時刻調整」を押す
終了時刻が点滅します。

4 ①「+ / ▶▶」、「- / ◀◀」を押して終了時刻に合わせる



②「タイマー時刻調整」を押す
元の表示に戻ります。

“E” と表示されたら
開始時刻と終了時刻が同じになっていませんか。

録音の内容を決める

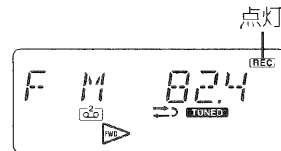
5 録音の準備をする

- ①放送局を選ぶ
- ②デッキ2にテープを入れる
- ③反転モードを選ぶ (22 ページ手順2)
 ・録音時に音を出したくないときは、音量を下げてください。
 ・AM放送で雑音(ピー音)が多いときは、リモコンの「ステレオ/モノ/MP」を押して雑音の少ないほうに切り換えてください。

タイマー動作を設定する

6 「録音タイマー」を押して“REC”を表示させる

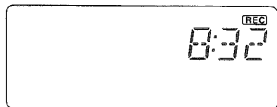
このときに聞いている周波数と音量で動作します。



“E” と表示されたら

『時計を合わせる』(10 ページ) はお済みですか。

7 電源を切る

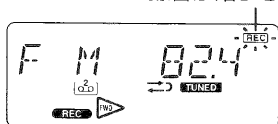


この状態で予約内容を確認できます（右記）。



設定した開始時刻の約 30 秒前に電源が入り、録音を始めます。

録音が始まると点滅



タイマーを解除する

電源「入」時に「録音タイマー」を押して **REC** 表示を消す

もう一度「録音タイマー」を押して **REC** 表示を点灯させると、同じ時刻に動作します。

動作設定（手順 6）のあとに演奏を楽しむ

①好みの演奏を始める

このとき音量や演奏する音楽を変えても、タイマー録音時には予約した内容に戻ります。

②演奏後、電源を切る

・タイマー録音は、電源を切る前に表示されている走行方向で動作します。演奏を楽しんだ後は、録音するテープの走行方向（▶ または ◀）を確認してから電源を切ってください。

録音したい放送局を変える

「録音タイマー」を押して **REC** 表示を消したあと、手順 5～7 を行う

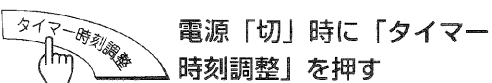
毎日同じ時刻で使う

REC の点灯を確認してから電源を切る
留守録タイマーは、**REC** を消さない限り、予約内容に従って毎日動作します。

注） 指定した開始時刻になる前に、必ず電源を切ってください（手順 7）。電源が入っているとタイマーは動作しません。

予約内容を確認するには

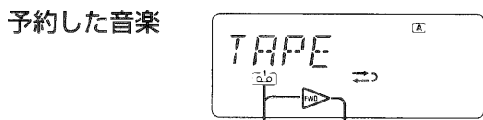
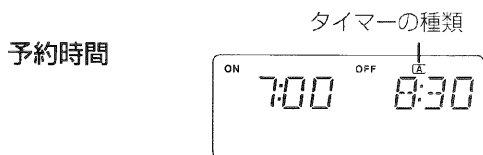
動作設定したおめざめ、おやすみタイマーの予約内容を確認できます。



電源「切」時に「タイマー時刻調整」を押す

以下の順に表示が自動で切り換わります。

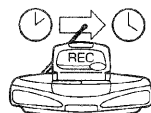
《表示例》タイマー再生 A で、午前 7:00 から 8:30 までテープを再生する。



乾電池電源のとき点灯しません。テープが入っていないと点灯しません。

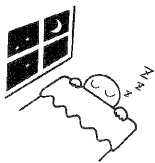


おめざめタイマーと留守録タイマーの両方を動作設定しているときは、このあとに留守録タイマーの予約内容が表示されます。

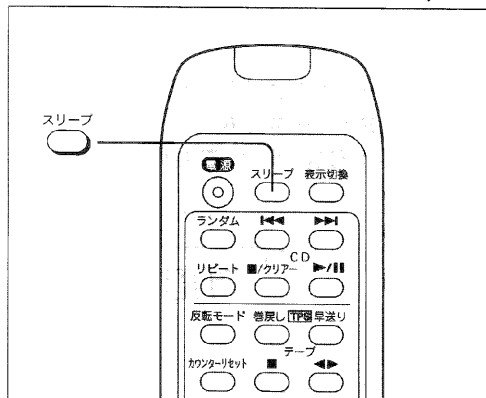


おやすみタイマーを使う

電源が切れるまでの時間を最大2時間まで設定
できます。

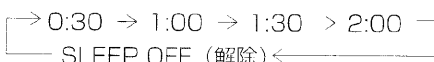


リモコンのみ



「スリープ」を押して、好みの時間を4種類の中から選ぶ

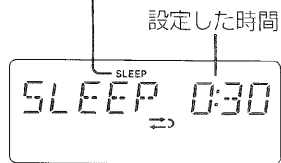
・電源「切」時に押すと電源が入ります。



(押すたびに表示が切り換わります。)

設定した時間が過ぎると電源が切れます。

スリープタイマー表示



解除するには

「スリープ」を押して「SLEEP OFF」を選ぶ

動作中に残り時間を確かめるには

「スリープ」を押す

残り時間を変えるには

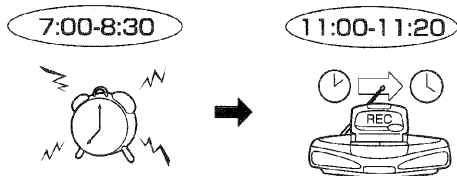
「スリープ」を押し、残り時間を表示している間にもう一度押して、好みの時間を選び直す

タイマーの組み合わせ

3種類のタイマーをいっしょに使うとき、よくお読みください。

おめざめタイマーと留守録タイマー

《例》朝、目覚まし代わりにテープを聞き、出かけている間に英会話番組を録音しておく



- ①おめざめタイマー (AまたはB) でテープ再生を予約する (28 ページ)
- ②留守録タイマーでラジオ番組を予約し、デッキ2に録音用のテープを入れる (30 ページ)

●再生用のテープはデッキ1に、録音用のテープはデッキ2に入れてください。

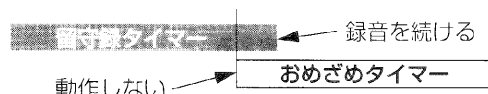
このときおめざめタイマーはデッキ1しか再生しません。

●設定時間が重なっているときは

・タイマー再生中に留守録タイマーの開始時刻になると



・タイマー録音中におめざめタイマーの開始時刻になると

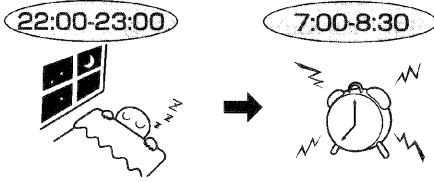


← 録音を続ける

→ 動作しない

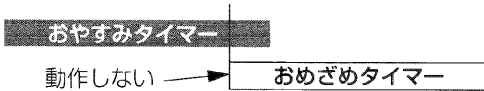
おやすみタイマーとおめざめタイマー

《例》夜、1時間FM放送を聞きながら眠り、翌朝目覚まし代わりにCDを聞く



- ①おめざめタイマー（AまたはB）でCD演奏を予約する（28ページ）
 - ②好みの放送局を選び、おやすみタイマーを1:00に設定する（32ページ）
- このとき音量を小さくしても、翌朝には①で設定した音量で演奏します。

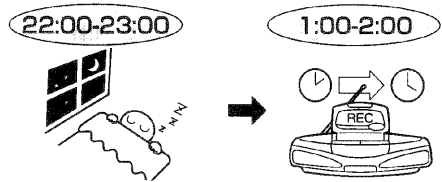
●設定時間が重なっているときは



必ず、おめざめタイマーの開始時刻までに電源が切れるよう、おやすみタイマーを設定してください。

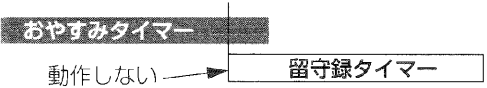
おやすみタイマーと留守録タイマー

《例》夜、1時間テープを聞きながら眠り、深夜FM放送を録音する



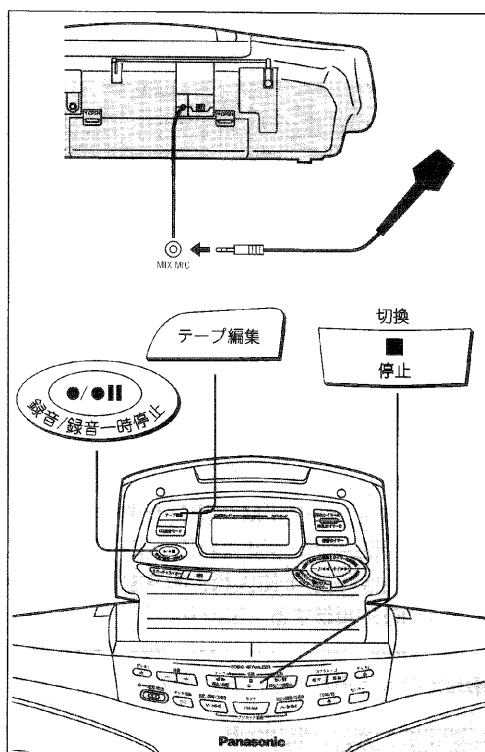
- ①留守録タイマーでFMの録音を予約し、デッキ2に録音用テープを入れる（30ページ）
- ②テープをデッキ1に入れ、おやすみタイマーを1:00に設定する（32ページ）

●設定時間が重なっているときは



必ず、録音が始まる1分前までに電源が切れるようにおやすみタイマーを設定してください。

マイクを使う



マイクを接続する

プラグタイプ：モノラルミニ (M3)
推奨品：RP-VK50 (別売り)

カラオケを楽しむ

- ① 音量を下げてマイクを接続する
- ② CD やラジオ、テープを再生する
- ③ カラオケを始め、音量を調整する

カラオケを録音する (テープのとき)

- ① デッキ1にカラオケ用テープ、デッキ2に録音用テープを入れる
- ② 「■停止」を押して“TAPE”を表示させる
- ③ 「テープ編集」を押し、カラオケを始める再生と録音が始まります。

カラオケを録音する (CDのとき)

- ① デッキ2にテープを入れる
- ② CDを入れ、「■停止」を押して“CD”を表示させる
- ③ 好みの曲を選ぶ
- ④ 「●/●||」を押してカラオケを始める演奏と録音が始まります。

マイクから録音する

- ① デッキ2にテープを入れる
- ② 「■停止」を押して“TAPE”を表示させる
- ③ 「●/●||」を押す

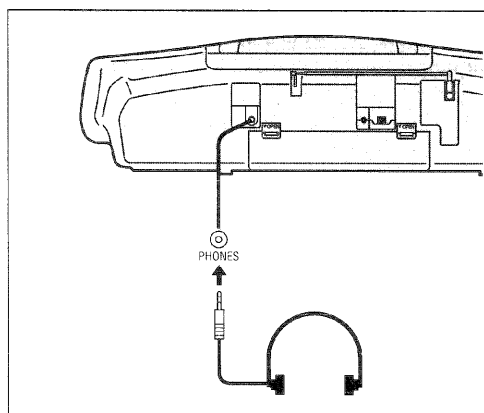
本機を拡声器として使う

- ① 「■停止」を押して“TAPE”を表示させる
- ② マイクを接続し、マイクをつまみをONにする
- ③ 「音量」で本体の音量を調整する

ご参考

- ・ 音声多重のテープやCDを使っても、歌手の声を消すことはできません。
- ・ CDでカラオケをしているときは、CDの演奏中のみ音声が出ます (停止、一時停止中にはマイクの音声は出ません)。
- ・ マイクを使用中ハウリング (ピーという音) が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。

ヘッドホンで聞く



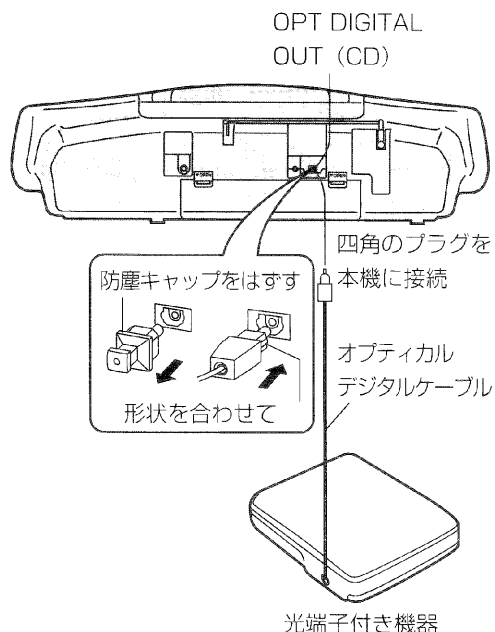
- ・ 接続するときは、音量を下げてください。
 - ・ 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- プラグタイプ：ステレオミニ (M3)
推奨品：ステレオヘッドホン (別売り)
品番：RP-HT400

他の機器へ録音する

本機の OPT DIGITAL OUT (CD) 端子から DCC デッキやミニディスクレコーダー、DAT などに接続して、本機の CD 演奏をデジタル録音できます。

詳しくは販売店にご相談ください。または、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

接続する機器	接続コード (別売り)
光ミニ端子付きの機器 ・ポータブルミニディスクレコーダー ・ポータブル DCC レコーダー	オプティカルデジタルケーブル 品番 RP-CA3210
光角形端子付きの機器 ・DCC デッキ ・DAT デッキ	オプティカルデジタルケーブル 品番 RP-CA3015



●端子にほこりが入ると誤動作の原因になります。端子を使わないときは防塵キャップを取り付けておいてください。

CD について



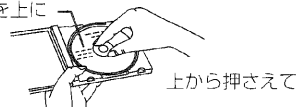
のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型や八角形など、特殊形状の CD はご使用になれません。(ご使用になると、機器の故障の原因となります。)



入れかた

文字のある面を上



持ちかた

演奏面 (光っている面) には触れない



汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、後は空ぶきしてください。

内側から外側へ



露がいたら

急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となる他、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- ・鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- ・レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- ・紙やシールを貼らない (セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのりがはみ出したり、はがしたあとがあるものは使わないでください。)
- ・傷付き防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない

保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光の当たるところ
- ・湿気やほこりの多いところ
- ・暖房器具の熱が直接当たるところ

テープについて

お手入れ

100分以上のテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こざざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますのでご注意ください。

エンドレステープについて

使用方法を誤るとテープが回転部分に巻き込まれます。必ず、テープに付いている使用説明をお読みください。なお、本機にはオートリバース対応タイプのテープをご使用になることをおすすめします。

テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。



録音したテープを誤って消さないために



・もう一度録音するには

ノーマルポジション ハイポジション



ハイポジションテープの種類識別穴はふさがないでください。

保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光の当たるところ
- ・高温 (35℃以上) 高湿 (80%以上) のところ
- ・磁気のあるところ (スピーカーの近くやテレビの上など)

テープの音を消すには

マイクは抜いておきます。

- ①テープをデッキ2に入れる
- ②「■停止」を押して「TAPE」を表示させる
- ③「●/●||」を押す

本体・リモコン表面のお手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきをしてください。

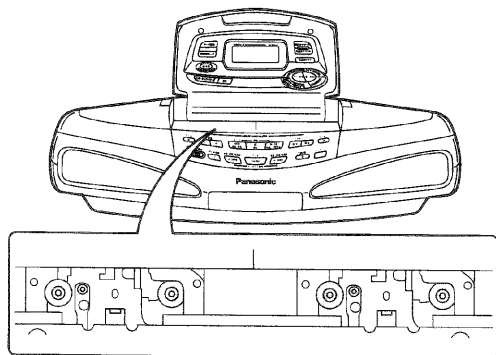
- ・化学ぞうきんを使うときは、その説明をご覧ください。
- ・アルコールやシンナーは使わないでください。

カセットデッキ内部のお手入れ

よい音質のために、定期的な清掃をおすすめします。

- ①「▲」を押してカセットふたを開ける。
- ②綿棒をアルコール液またはクリーニング液につけ、下図の□(テープが触れる部分)をふく。

推奨品：クリーニングキット (RP-919、別売り)



CDレンズのお手入れ

CD部に内蔵されているレンズにほこりや指紋などが付くと音が飛んだり、正しく動作しなくなります。このことを防ぐため、定期的なお手入れをおすすめします。

推奨品：CDレンズクリーナー (RP-CL400、別売り)

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置 (参照ページ)
共通	“E” が表示された。	誤った操作をしていませんか。	説明書を読んで操作し直す。
	“U01” が表示された。	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。または家庭用コンセントを使う。(6)
	“U02” が表示された。	電源が準備されていません。	乾電池を入れる。または電源コードを接続する。(6)
CD	演奏が始まらない。曲数などの表示が出ない。	CD が表裏逆に入っていませんか。	文字のある面を上にして入れる。(18)
		寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。
	特定の箇所が正しく演奏されない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。(35)
		CD に傷がありませんか。	CD を取り換える。
テープ	録音できない。	テープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。(36)
	雑音が多い。音質がよくない。	ヘッドが汚れていませんか。	カセットデッキ内部を手入れする。(36)
ラジオ	雑音が多く、うまく選局できない。	アンテナの向きなどが悪くありませんか。	アンテナを調整してみる。(15)
	雑音が入る。	他の機器のリモコンを近くで使っていませんか。	リモコンを離す。
		テレビと同時に使用していませんか。	テレビから離す。またはテレビの電源を切る。
タイマー	予約時刻になっても動作しない。	電源が入っていませんか。(おめざめ、留守録タイマー)	動作を設定したあと、電源を切る。(29、31)
		表示 (A、B、REC、SLEEP) が点灯していますか。	点灯させる。(29、30、32)

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

保証とアフターサービスよくお読みください。

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様相談センター」へ！

■保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

37ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください（下のサービス伝言カードをご利用になると便利です）。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年間保有しています。

注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

（切り取ってご利用ください）

<サービス伝言カード>

修理をご依頼になるときに、必要事項をご記入のうえ、お買い上げの販売店にお持ちください。

(ふりがな) お名前			
ご住所			
ご連絡先 電話 () -			
商品名	ポータブルステレオCDシステム	品番	RX-ED77
ご購入日	ご依頼日		
故障または異常の内容 (このような場所で、…していたとき、こんな故障になった)			
※私の希望修理代金は 門までです			

お客様ご相談センター

☎ 0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）

年中無休／受付9時～20時

International Customer Care Center 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)
海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は…

TOKYO ☎ (03)3256-5444

AKIHABARA 秋葉原
1-8-1 Sotokanda Chiyoda-ku Tokyo

OSAKA ☎ (06)645-8787

NIPPOMBASHI 日本橋
4-10-2 Nippombashi Naniwa-ku Osaka

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0696

修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

札幌 ☎(011)894-1251 札幌市厚別区厚別南
2丁目17-7
旭川 ☎(0166)31-6151 旭川市2条通21丁目
左1号
帯広 ☎(0155)33-8477 帯広市西19条南
1丁目7-11
函館 ☎(0138)53-7107 函館市山の手1丁目
1-15

東 北 地 区

青森 ☎(0177)39-9712 青森市大字八ッ役
字矢作1-37
秋田 ☎(0188)26-1600 秋田市御所野湯本
2丁目1-2
岩手 ☎(0196)39-5120 盛岡市羽場13地割
30-3
宮城 ☎(022)375-2512 仙台市泉区市名坂
字清水端59-2
山形 ☎(0236)41-8100 山形市流通センター
3丁目12-2
福島 ☎(0243)34-1309 福島県安達郡本宮町
字南ノ内65

首 都 圏 地 区

栃木 ☎(028)632-8450 宇都宮市中央1丁目
8-13
群馬 ☎(0273)52-1217 高崎市萩原町沖中
205-18
両毛 ☎(0276)25-6870 太田市東新町244-1
水戸 ☎(029)225-0119 水戸市柳河町309-2
つくば ☎(0298)55-7860 つくば市栲園2丁目
1-13
埼玉 ☎(048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2
千葉 ☎(043)251-3537 千葉市稲毛区園生町
369-1
船橋 ☎(0473)34-5111 船橋市本中山6丁目
11-7
柏 ☎(0471)63-8905 柏市北柏1丁目7-6
東京 ☎(03)5477-9780 東京都世田谷区経堂
5丁目26-8
山梨 ☎(0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目
1-27
神奈川 ☎(045)847-9720 横浜市港南区日野
5丁目3-16
新潟 ☎(025)286-0171 新潟市東明1丁目
8-14
佐渡 ☎(0259)23-2898 尚津市秋津字境
108-1
長岡 ☎(0258)28-2111 長岡市寺島町308-12
上越 ☎(0255)44-6871 上越市大字藤野新田
字大割353-3

中 部 地 区

石川 ☎(0762)94-2683 石川県石川郡
野々市町稲荷3丁目80
富山 ☎(0764)32-8705 富山市寺島1298
福井 ☎(0776)54-5606 福井市開発4丁目112
長野 ☎(0263)58-0073 松本市大字芭實
7600-7
静岡 ☎(054)287-9000 静岡市西島765
愛知 ☎(052)614-3136 名古屋南区
西又兵衛町3-48
岐阜 ☎(058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町
高屋太子2丁目30
高山 ☎(0577)33-0613 高山市花岡町
3丁目82
三重 ☎(0592)55-1380 久居市森町字北谷
1920-3

近 畿 地 区

滋賀 ☎(0775)82-5021 守山市勝部町260
京都 ☎(075)672-9636 京都市南区
上烏羽石橋町20-1
大阪 ☎(06)359-6225 大阪市北区本庄西
1丁目1-7
奈良 ☎(07435)9-2770 大和郡山市椎木町
404-2
和歌山 ☎(0734)75-1311 和歌山市中島499-1
兵庫 ☎(078)272-6645 神戸市中央区
琴ノ緒町3丁目2-6

中 国 地 区

鳥取 ☎(0857)26-9695 鳥取市安長295-1
米子 ☎(0859)34-2129 米子市米原4丁目
2-33
松江 ☎(0852)23-1128 松江市西津田2丁目
10-19
出雲 ☎(0853)21-3133 出雲市渡橋町416
浜田 ☎(0855)22-6629 浜田市下府町
327-93
岡山 ☎(086)292-1162 岡山県津部郡早島町
失尾807
広島 ☎(082)295-5011 広島市西区南観音
8丁目13-20
山口 ☎(0839)89-4445 山口市大字佐山
1120-1

四 国 地 区

香川 ☎(0878)74-6200 香川県綾歌郡
国分寺町新名663-1
徳島 ☎(0886)98-1125 徳島県板野郡北島町
織浜字かや108
高知 ☎(0888)66-3142 高知市阿豊町中島
331-1
愛媛 ☎(089)971-2144 松山市土居田町
750-2

九 州 地 区

福岡 ☎(092)593-9036 春日市春日公園
3丁目48
佐賀 ☎(0952)26-9151 佐賀市本庄町
大字本庄896-2
長崎 ☎(0958)30-1658 長崎市東町1949-1
大分 ☎(0975)56-3815 大分市萩原4丁目
8-35
宮崎 ☎(0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町
下加納366-2
熊本 ☎(096)367-6067 熊本市健軍本町12-3
天草 ☎(0969)22-3125 本渡市港町18-11
鹿児島 ☎(099)250-5657 鹿児島市与次郎1丁目
7-36
大島 ☎(0997)53-5101 名瀬市矢之脇町
10-15

沖 縄 地 区

沖縄 ☎(098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

参
考

主な仕様

ラジオ

受信周波数

FM : 76.0 - 108.0MHz (TV : 1ch - 3ch)

AM : 522 - 1629kHz (9kHz ステップ)

520 - 1710kHz (10kHz ステップ)

テープレコーダー

トラック方式

ステレオ

録音方式

交流バイアス

消去方式

交流消去

モニター方式

バリアブルサウンドモニター

周波数範囲

ノーマルポジション : 30 - 16000Hz (EIAJ)

ハイポジション : 30 - 17000Hz (EIAJ)

CDプレーヤー

標準化周波数

44.1kHz

復号化

16ビット直線

光源

半導体レーザー (波長780nm)

チャンネル数

2チャンネルステレオ

ワウ・フラッター

測定限界以下

DAコンバーター

MASH※ (1ビットDAC)

時計/メモリー

電源

DC6V (単3形乾電池4個)

電池持続時間

約1年間

(別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R6PU使用時)

リモコン

電源

DC3V (単4形乾電池2個)

電池持続時間

約1年間

(ナショナル乾電池ネオ《黒》R03使用時)

最大外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

48 × 150 × 22 mm (EIAJ)

質量

約72g (乾電池を含む)

共通

スピーカー

10cm丸形 2.7Ω 2個

入力端子

MIX MIC : モノラル (M3)

適合マイクインピーダンス : 200 - 600Ω

出力端子

PHONES : ステレオミニ (M3)

適合ヘッドホンインピーダンス : 16 - 32Ω

DIGITAL OUT (CD) : デジタル (光)

実用最大出力 (DC時) 7.5W + 7.5W (EIAJ)

電池持続時間

ラジオカセット部 : 約5時間30分 (EIAJ録音時)

約3時間30分 (EIAJ音楽再生時、音量47程度)

CD部 : 約2時間30分 (CD連続演奏時)

(別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R20PU使用時)

電源

電灯線 :

AC100V、50/60Hz

乾電池 :

DC15V (単1形乾電池10個)

・乾電池の代用として充電式電池を使わない。

消費電力

AC28W

最大外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

630 × 178 × 296 mm (EIAJ)

コプラトップ「開」時の高さ : 305 mm

質量

約5.6kg (乾電池なし)

約6.7kg (乾電池を含む)

・乾電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

・この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※ MASHはNTTの登録商標です。

電源スイッチ「切」時の消費電力…約2.1W
(ACのとき)

愛情点検

長年ご使用の本機の点検を!



このような症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・音が出ないことがある
- ・正常に動作しないことがある
- ・商品に破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎ () -	お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご相談窓口	☎ () -	品番	RX-ED77

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06) 909-1021

RQT3626-3S

F0596L1037(D)